國のオブザーパーだっ ストツクホル

出來ぬだらう

府に割する直接の債権者となる 以来の減事、海兵隊、沿尾警備隊 ン茶品=米國母配省は十五日開版 【リスポン士五日同盟】ワシント

米海軍損害小出し

「東京電話」昭和十七年四月十八日歳の非道なる

文那大院上り我が本二年の歌を組ひ在支米字屋の増殖

セバス

r

ポ

リル

住宅地域を爆躍した

空野部隊は十六日<br />
でプタペストの

中部を爆撃

共和党のお力候補ウイルキーはウ

し、三名の城人を含む路線員八名日トルコ領トラチャ地方に不祥婦

プール公園川沿線路機一隊は七五 【リスポン十六日同盟】イスタン 米不時清機に黑人

【リスポン十六日同盟】米大統領 マツクは解退せず

選機酸は早くも削階酸に入ったが

平洋垣司会官マツカーサー棚を出 イスコンシン州の砂墨で敗退立候 し週間が順に債機化するに至った 総か及消して共和額内には西南太

川によれば、ウイルキーが公然ニューヨーク・タイムス紙の個

選集工作が消められるのを少くいと稀しながら、自分のために ユウイが大統領になりたくはな

選出される場合、決して立候補

東大日常日 日間 第一条 一部 他兵敗走す か他兵敗走す

方空高場合

應急手当備、

際と相次ぐ肉頭攻略に堪まりかね

附近の威砲兵陣地は十三日未明よ

製製車砲その他百世門、追撃砲七百二十七名、関撃砲世八門、 ち一箇所も刺るず問匿した。赤てのたが、ドイツ軍は関戦のト トラツクおよびトラクター五種八姓、自動小銃一干二百六十程 百七十四門、機關院三百七十 類症状地帯には敵極めて困難、加心

して戦車に係る

側四六一高地の敗敵職波職を認め

機能時に必省各戶で購入ませる。こ

帯は精での外部、やけど、参車参錠生作用、強い加止、機関作業等の闘い教権作用、強い加止、機関作

問傷、皮勝病一間に用ひて卓效

切場に けどに

庭 薬備

R

ずなどう九日以来わがコヒマ西

に無退却を開始した り砲を映地で激光した宗へ西北方 ジョトンマ(コヒマ西方三キロ)

スとの國域に指って立入禁止區域 取締張化のためイタリア近にスイ プランス政府は十六日國境地帯の 手まめに消しませう 小さい電球に變へま しませう 7

必ず笠を 手もとに

一方四六一高地の短脚五百餘は

. . . . . . .

來館=英海軍省は鳩溪艦レイファ

「リスポン十六日同盟」ロンドン

英驅逐艦喪失認む

道案したまく四北方に海を配して 環内にある友望な見役しにし他を

つけませう **ごげませう** 

電球をきれいに拭き が追儺何を唯一の行みに劉陽返流 意会で歴史して山際兵の大部分は には魔滅の連続を待つ返に数十名 國民軍に遡及参加合流し、同高地 刀と問む歴史開地の連続に今や歌

# を継げてゐるのみである

## 初銳に動搖

河を興行態河、 領するととうに出 ン西北方四キヒ してプテドン化 難逼地員士八日 第1版次配を整選、五日午前歌漫連合の大編纂をもつの番単日登、圓山一ルマ方回陸重新空部際の新館は十 ンノビン(プチド 常家は十三日マユ 東北方高地を占 八杯スカゾンに てインパール平地に進攻、地上部 場に進攻、激戦し深れるスピット を削したるのちインパール北飛行 際に呼應してインバール平原上空 

に四十日、あくまでプチドン、モ シンゼイワ盤地の振劇以来すで 三百の概を攻略して 中戦を減じてこれを臨過するとと 早くも後週を開始 中でシノブン方面 著を置して必淡の巨弾を投下三ケ 所を炎上(うち二ケ所は在地蔵

一〇わが戦略型限を突破せん 角曜せしめなが <u>ଭ</u>十六日後〕カシダンミー河(カ 【カラダン回線選歴、大沼報遺迹 パレトワ近し

一成、関係や主力を包断、潮を持してるたわめ変融を確認は十三日してるたわめ変融を確認は十三日 ラダン附近東方からカラダン河に 流れ込む)のデルタ地標の西剛等 精進一



### 選進しての公大東語の派しい。時代を共に撤落して行 けるのである のである。荷しくもこの二周年を逃へ一億國民派く の用意はよいか、空襲を現實の問題として歌嘘波と 月下の猛調練 「寫真」國士防衞制空隊、 (壁思省檢驗路) 朧 大使)現國民議會議長大東市専事 陸海丘隊を同港を去る十六キロの「プグペストナ七日同盟」反復制 市街或を展開してあるといはれる が頭に東方から攻撃するソ聯地區 特派大使一行略歷 と連歩とが働らされるであらう

ス兵、大戦大臣と木交通部長官、

五百五十九機 敵機、ラバウルを連襲

**片門被會社長、獨米四層建節** 

人々と他めて和氣簾々をる宮路類一國との楽窓不可分期依はこれによ ってますく重摩を加へるもので

四部屋に入った

リビン人ど、大日本帝國、政府な の深語なる謝恩の誠意を表明せ の理想を許良されたることで對 第二は此関節配を通じてワイ イリピン人が眺望してゐた獨立

ずぶ入的機器的なる人類の不和 ◆向アントニオ・デ・ラス・アラ の首席語となった。 一式任命でれる組み

大日本帝國が比島に對し致せる

つり、星型占衛後行政府慶福部子會長、映興銀行會長國民倉庫的

九十機が死襲したがわが所在部隊 百廿九機が、さらに十五日には百

三機を開催した。わが方後割はし Bは土一種が死滅したが、わが所 アンダマン諸島ボートプレアに敵 【ペナンナ七日同選 士五日午後

部隊はこれで数略空間により其

「リスポン丁六日同思」ボンベイ ガ翁マラリヤ罹患

してある

の敵砲兵座地は

を膨逐した、ついで十四日には二 が深趣、わが所在部隊はその一機 を極め十三日には敵戦魔百四十機 に対する機機の米機は用瘾き熾烈

アンダマンに

十二機來襲

失であつだが、獨立後は脳外にあ

【中部太平洋〇〇張地十七日同限】 廿二機來襲

妻によればガンジー翁は三日削か 來電=ポンベイ州政際十六日の競 らマラリヤに罹り弱つてゐるが全

一般的容融は心臓ないと解へられる 一ングマイに割し離攻艦の火箭を切 横る歌に蜀し選月海難を患って日、セングマイ東方高地の影響に った階部隊は同日夜〇〇方面に を達し得たいつた、酸は今やわが ら間に莫大な遺獣を襲り差に目的 を楽しつくあり同方面の競別は世 陸鷲砂

成功

に至る甘キロの道路上に沿って陣のシン開方二キロのドロングオビイ の敵なビシエン の研究を うで観弦響に そ反映で試み、こ ルおようでイ 【リスポン十七日同盟】ロイター レトワ南方00キロに肉薄した 東南亞軍司令部 セイロン島へ

消息

4. lín. 壓 息·神經痛 H 風痛服力 スルブンアナ 円五廿 第一

大阪市東徳川城三岡本町大阪市東徳川城三岡本町 ミン B ンプル中三、〇〇〇單位 M

酒に沿つてインパール総地に

込まれた第廿三師関第卅七院限わ

日観】トンザン、インパール宗街

シェンプール周遷に約十萬の兵力

新たなる対援部隊の交援を得てビ お第十六版圏の機械は関下した

を集結し、インパール南方の旗點

2.1817/1514/直接基準体式管理 語語解放展次率過程速管内距离连接性大切密接线附近 行うへ入有位限数块组大点的 原有心规则经过位的方式分析的更加这种分数等所被的 原有心规则经过位的方式分析的更加这种分数等所被 即反似的经过多位的全面。 1.1010 以及使导点因用的方式。 1.1010 以及使导点因用的方式。 1.1010 以及使导点因用的方式。 1.1010 以及使导点因用的方式。 1.1010 以及使导点因用的方式。 1.1010 以及证据是是可以定据上的 1.1010 以及证据是是可以定据上的 1.1010 以及证据是是可以定据上的 1.1010 以及证据是是可以定据上的 1.1010 以及证据是是可以定据上的 1.1010 以及证据是是可以定据上的。 1.1010 以及证据是是可以定据上的。 1.1010 以及证据是是可以定据是是是一个。 1.1010 以及证据是是可以定据是是一个。 1.1010 以及证据是是一个。 1.1010 以及证据是一个。 1.1010 以证据 京城府光化門通二二九 朝鮮 水産 竹 材株 式 會 社 朝鮮 水産 竹 材株 式 會 社 「東城府光化門通二二九 「東城府光化門通二十八四番 「東城府光化門通二十八四番 「東北西省等45円」 全南海音竹配給統制株式會社会中南海音竹配給統制株式會社 登退

### サーの北上作戦、ニミッツの四戦、マウントパツ本工職制を受けてより二層年にあなり、マツカー テンのピルマ党攻作戦と共にこの一万年間の最高 の意識が照調される所以はここにある。緩動に減の を捉へたのである。近代職におて國土すたはち戦場 れ、ニミツツまた「紫暗にもからずその大学洋作戦は パウル所在墨藍の雷脳によりその飛石作戦を完封さ 見て我が本土機関の可能性は増大しつつあると歐せ は逐次短縮せられたのみならず、航空機の特性から の速度を冷静に回放すれば、第一級と本土との距離 何時にても本土空襲は行ひ得るのである 限にひろげられた大学の侵攻を簡見することにより C至っては逆に東部インドの機能を居地でられるの 条備して虎視眈々として本土容響を狙ってをり、無 昭和十七年四月十八日政は遂に並が下土を贈の機 命に至つたが、而も敵は尨大なる大原匪跋域の外 谷所に武備を増掘し漸く立直つを行力機助部隊を 年を開奏さられ、原にマウントバツテン 考へざるを得ない が本土に對する奇妙は大陸から北方から而して再洋 微機による敵の動団は輕視を許さず数次に亘って中 殿の侵略として、叉本土豪雄に先職をつけた空再艦 都太平洋に出慮した敵機動派隊の耐耐からぶても技 を楽したのである、更に一方において北方における の信念は贈立され、原来要認識の目的が達せられる は常時この頭上で頭機と向ひ載いの決意を持たねば るるが、國土はすなはち文字通り破場として、 機何ものぞとの心意気のもこにその歌場に歌踊して から常時この三方面からの陸攻が可能性あるものと ならない、常在阪場の「行りを選じてのみ酸に必勝 いる語もなく就後の國民は星軍の精弾に扈騰し敵 我们

開地に標泊を完了した響、ルーマ

いったれば、セバストボ 大攻防戦の火電が切られた、前談

趣

赤軍戰死五千

同港北方五十千口の郊外で遊覧、 題下郷四ヴクライナ戦線軍主力を さず戦をは十六日朝來シンフエ ロボリから関下したトカプーヒン

区追してある

ブダベストを盲爆

新りた船、百八十以上を機構し が向は銀年方キロの探覧が発験 が向け、九三五トン)を選択し が同け銀年方キロの探覧が発験 を配十六日急襲した

ヤからブルート戦闘ではドイツ戦 あると個へられる、地方カルパチ 観れ縮を削る大空中戦を展開して 一百機の各領飛行機を動員、双方人 空間が高波に端地化し雨車とも数 徐ろに固めてゐるやうだ、またセ 迄階退、長期出血作戦への 酸響を

暖地域の揺瘍配を致行、多大の取は北方ナルバ戦線における赤軍突

【ペルリン十六日同盟】ドイツ軍

を決定する言公表した

ナルバの戦果

果を收めて終了したが、ドイツ軍

は反脳をいよい上韓化派軍を逐次

運港セパストポリが陰落して以来 九四二年七月一日 照海最大の要塞

年九ケ月を郷て再び同港を隠る

ストツグホルム十大日同盟一

一回文章する示 軍を十三キ ロの

題」ドイツ軍管局がは十六日次の

グラードおよびルーマニヤ中部米温機能積燥は十六日白質ベル

入禁止地帯

六日同盟

電灯

10

随地を確保した、この奇遇に派浪・突騰を並行、激闘数時間ののち同

**弱 勇** 

〇二五 〇五〇 一〇〇

本館 國際發謝株式會社

光版は四六一高地のわが包御殿

レわが結婚部隊は十二日夜最後の 行するジョトンマの飲耐反際に對 十頭相照他ならずに消撃破多数を な理麼によって室間しつつあった 血作戦か

### 平洋の北海西海の駒作風が開蔵以来乳一万年半にし 本土空襲を記封することは登襲中の至順であり、太 てなんらおもはしい展開を許されぬ概は今夏の如く

買前駐日大阪グごと共に島軍に

三三年財政部長官、內務部長官太氏(服務大臣) 塵林資源部長官、 ◇同ラフアエル・エル・アルナン

比島獨立護開委員として獨立に

【ラバウル十七日同盟】ラバウル一その一機を解唆した、わが万被害

るに政州の独客の職をもつてする すべきは必定で、わが方でも調す 所道道、緊急化に多大な質能を置 り見るも日比兩國の同盟友好隔 大使一行今回の使命はその麒麟 製局では十七日午後部日動隊谷庫 信節の撤退と関し次の如く破表し 【マニラ十七日同盟】比國政府信 比國政府情報局發表

をもつて限を選りから伽藍版の侍 「恵民語」航祭機増売のほどし 紙寫源表表完成十七月中的

合信、勝政會など職利施設を真る 着、吉田社長、阪井工場長に 野、午後一時日本アルミル州工場 施設および規場作製鉄別を開業の 田社長、中原工場長に「監督を原

本アルミ視察 三菱化成、日

アキノ氏一

行來朝

廿分三菱化成OOT場環、池一に脱裂した

清家侍從武官

に対し越大の支持を戦へ來つたほ 克服して著々郷立國としての内容 達成以來機時下のあらゆる困難を わけで昨年十月十四日待望の城立 つあり、その第一は今日までに今回の傾前國家選の目的は二 リピン共和國防恩答顧使節は十 エセ・アキノを前班とするフ ノイリピン國際翻長ペエグノ・

長)十十三四年司法部長官に就任

比高弱立準縮本員として活躍、顕出古領後は

に就任、獨立準備委員であつた 一九四二年数 はその九機を職墜した、わが方い づれも損害駆破であつた

タロア島に

紫色となった。
一部は一部が水準したが所在部隊は一般が火車の大手であった。
「一部が水準したが所在部隊は一門の前側が発達の場合には一門の一部が大手であった。」 十五日午前マロエラツブ環礁タロ

五日ビジェンプール西方十八粁の同道路南側高地一ガードの高地議を一度北上すればプラマプトラの大 平原が一図の下に施がり中部印度反衝物質最大東級 **町より救援職を網出し、ニチュガード死守に対戦レアツサムーベンガル総治の避命が決るので願は各方** 脳中である

を多シルチャ道も導致と使用してをり、 酸唯一の地知路

に進出、印度國民軍獲事隊は同道路通行の威部隊に

の日印同盟軍は交援部隊の増援を得て全面的攻場に プチドン、モンドー正面の敵に對し南部國境戲線 【細目前級00中品報道、場員十六 退路遮斷 ビルマ00差地十六日同盟」ビ

(hix is in)

アキノ氏=(8)

アラス、魔猕大臣ラフアエル・エ 大阪大臣アントニオ・デ・ラス・

賢として大器院長ホセ・ユーロー

一種一等質記憶が附続ひとして同行

| 康は昨年九月比監験で前にもすで ら多数出班へたが、アキノ特級大

に大統領ラウレル氏らとともに死

既日フィリピン 大便 パルガス氏

に帰朝中の村田駐比大師、また

敵命脈寸斷近し

インパール外郭激戰

行中である

西遊部隊

の足搔きと対し引続き猛攻戦 パレル要響の立願る減酸必死

南部國境戰

線

敵痛爆

瀬幕を別して一層に認攻撃の火盛

数を急退して先激記録は早くもべ

を切り疾風の如く難嫌に殺動、飲

の職場、この持場に、たゝき込敵、何するものぞ。

年必ず勝つ

やと、はねかへす。

まジンに、うち砕くのだ。

パピリオ 伊東北學研究所

んで、兇悪不逞の反攻を、ガッ

てある

コヒマ攻略後周温の威胁を掃滅すると共に主力を

アツサム北進部隊

十八日マニラ酸釜中臓岡一治の上 カスチリヨ氏にわが駐比大便能漏

行は時部大便アキノ氏のほか極一器大阪省首店開班官アンドレス・

空路帝都入り

郷本帯室次官、「永陞軍次官なら

寸尺刻んで肉薄

中に原外大宮御所、各営学に削険、夾邪御挨拶の記帳を行かことになってゐる

既へ且つ日中間閉旋約を縦約したるに対し誤蔵を表明するため特徴大幅として國質離長ペエグノ・エ

セ・アキノ氏を管臓に派遣すること、なり、同時派大使一行は本十七日人原むり、なほ十八日午前宮 情報局發表(四月十七日午後三郎)フイリビシ國政府は同國の獨立に對し帝國において授助を 開資の一行七氏は十七日(午後一時十二分经路羽田飛行場着人京した石に関し管理局では十七日午後 「東京に話」フイリピン芸和国際立に對する酬税ならびに日比同盟條約織能に對する答酬のためフィ

リビン國を代表して派遣された同國答臘特派大使フイリビン國會職長ペエグノ・エセ・アキノ氏係が

獨立援助に謝意表明

ぐいぐいと引つ張って行き気行さ

るため施肥技術の信義が肝要とは、御業であり、歴民は大細田族であ

かつて小概態哲が道殿せる如く自己の質比下に観化脱寒すべき地

る。職大なる土地と多数の職民を

南下部隊

バール四周の敵後郭敞地に對わが諸部隊は十一日以来イン

インパール攻略戦

って残るのである。

指導者と名のつく程の者ならば

事務総長オシアスの四氏症に脱しに持不大原心相、松本外務次官 ル・アルナン、カリバビ副艦競雑一部がなく入京したもので、

間機のことくて独行場に出述への 跡したことがあり、何れも簡知の

じてゐる。とこの情勢を認めるに至つた、十五日現在の同方面における歌烈概要は次の如くである アリーからのが開発語も「常用準はインベール平地で完全に日本地面像下に増えと至うをとて五日載り上からのが開発語も「常用準はインベール平地で完全に日本地面像下で増える戦争にあり、ニュー

ル東々北十五粁)を奪取し、前進攻撃中である

イラン及び西方の要類ヒシェ

對するわが印配被索は急速に進展してゐる、ニチュ のニチニガードに迫り経攻中で、十六日以來同地に つくある日印同盟軍は既ビデイマブール原南方十粁 もつてデイマブール道に沿ひアツサム州深く突逝し

雪

際に撤譲、その所に選し、十五日以来批選を終けて職績に関係を批はれてのた際は対たなるわがこの攻 轉じ、猫人敵を修道中でインパール、デイマブー

地主の

蹶起こ 詤

小規模士地欧昆亚龍は昨年十一

配となるのである。土地欧良塚紫

一大士三萬石師々はこの三者が軍 生酸度任何米二千六百萬石、枣一 に對する螺が解對不可能である。

一般となり整備されて初めて可

能指揮の威あるは治療である。空管であるが、技術指導に近いて職 離でも温散の事情を知悉してある

的態度をとり右順左眄してその行

るはころ一年にある。ぼらに併版

の調査によると安全省でる水利組

|就中インパール東北方で、||料セングマイの岡地群等

に往入し兵力約一萬を集結して最後の抵抗に問題と **戦の處官兵力の他新たに有力な豫師部隊をこの職級** ンプールがわが猛致の削に危殆に減するや第廿三師 

し引職き猛攻を加へてゐる、敵の抵抗の頑損を痛め

ら全解的に将手したが結局の

技術指導

相称って、物が以上の消滅を引せ三のない解し大塚の主流しなって、種子の重要な、施門を織の指導的として振い言れなはならぬ。受情が一つて物が以上の消滅を引せ三のない解し大塚の主流しなって、種子の重要な、施門を織の指導的 として振い言れなばならぬ。受情が一つに対している。

の方は智島語に脳民が、一世人文、陽地利用としても歴と種子、肥料、助を開始、東京で株、何等なでは、指導を加へない不在地主所和の称

る。郷炭のため地に心臓が減りで 総上げ完成されるのではないかと

は内地震語と比し歌魔技術と於い、十分と與へてあるであらうか。記、魔を排し締成せればならぬ配験な

低位にある。従って技術温度にしたては果して如何。勿論植物はで、地主自身の自然とが確となり、 て土で刺する窓管に於いて並しくんや少肥多取の施肥技能の記述にのである。意ひにも質問の指導と 概でも指摘してゐる如く半階度因の地肥を眺道する資欲を、技術を

保は容易の語ではない。しかし高 全然ない今日殿業生産度代類の確

はし不在地主が七に遭へり、その に個八十五石増収の見込がついて した指導を加へこくのみからで極 地が質に工一萬一千八百町があつ 合属域内にある小作人に対し極承 主の遺伝は重大である。昨年六月

あるのである。単國農道の本義を

懸崖上に竿の先の爆薬

たゞ闘魂、ジエサミ蜂窩陣突破

を展開してその場面を一つく ・ 一のであるの を関係しているとうの を理像に がある。

第万を振り大変化的する〇〇部

| WE | 1000

20

| 「連発士は藤町至沂面 説師の難くる実践ら見

9/2

たが今や腹木質の瞬間により徹底

 でおいてに複数原動和神の影響が自然回路なく なってあるが、発動影響がの影響を入りであって切むという。

 でおいプルル智慧に指々インペール東北側に脳、中感に無力を関すに関するログタク勝西方の高。

 でおいプルル智慧に指々インペール東北側に脳、中感に無力を関すに開始するログタク勝西方の高。

 でおいプルル智慧に指々インペール東北側に脳、中感に無力を関すに関するログタク勝西方の高。

 でおいてに複数原動和神の影響が自然のという。

一方シルテマへの練場路に追った日印海島部隊は一日出怨星波なる特種な機能が能送

班員十八日發】インバー

【印度前線長谷川報道 | さんてあるが、わが部隊はインパー ぎじこれを記憶を強した、

2東北十十四日三二四高地を

クルル 街道と沿つた 頻後の 脳路口

道南側のコングボング高地に進出

しインバール、シルチャ道を聴下 いビシェンプール照方十八キロ本 北側高地に激戦

ル北側隊路口を挟ぎ高地帯では選

の三四四九島均附近の豚陣地を猛一四キロ)でもわが消鏡諸部隊は逃 占領、引獲いて同語地區南四キロ一四〇五七高地(インバール東北十

双中であったが十二日午後十時折

修に逃じて欧戦攻略を加へ

線を膨迫してある

一方十一日コヒマ街道

の職性よって郷を動してあるの職性よって郷を動してある。

日夜週、肉酒販を除返し屋原なる

と見上す戦略地勘を確保し、微三大動脈を順へ、一方國民軍は、第二

那してまっぺきものがあらう。 土

サミ附近の敵魔地はいはゆるジャ 貸土八日砂」コヒマ東方世科ジエ 【アツサム前線野口、福島報道派

が巧妙なことである、これに関れず、また至近距離の火網糾綿

を利用し空中から網製に細見さ

ングル防禦威法を採用鬱査たる密

**常の態際起、こくにこそ** 影響生

トル平方位の地域に乗の風の如き 林の変通路の要點は三、四百メー

**野間なトーチカ域地が機能されて** 

で、題を持んで引引きるという。 銃、手榴弾、追脳的など集中火

土織の窓頭には生むなく死もなく

をわが記録によって開地外に指揮 の巡しる機器に続くも互解し級

ど破壊内に関り込んで変数する第一

せて一塊にこれな過減せしいろな

石に領型を絞る壁の地域地も突入

| 竿の先につけて| | 矢の上で爆破さ | | 飛快するのであった、かくして流

関係がさせるの成果をおけ同志を 離まで際進して敵側の以歴兵を提

て行くのであるが丁丘際は燃煙を

を乗り振や用りつく酸酸に高減し りは自転しい限りであった、懸尾 き温していく日間望傾间の短問長

質能物の如何である。使度が本

が半島圏民に大量に、レジも民選

あることは勿識であるが、食糧

の必成は土地改良に加るるに

類よく解り易く動へ遊ぎ、時には

であるが、それ欠けに貴重なる肥

土地氏に出来は食物均産のお幹

刷物を配っただけではついて來な

り肥料の選不適があり、施肥技術

だいてすら難帯の難事

した歴語報國農本育がそれである 主の歌起を見た。紀元の佳の結成

外に食糧の自給自足艦制の確立は 産の飛躍的増强が期待されこれ以 も形に形式的な説明や、別んや

記録を示してゐる。北照地方は氣 月末和在で関数的方は八字が一

特に会北の処立は十期分の

殿民に對する技術指導と、同じく

のである。金肥不足は堆肥でと言く類別な今日、しかもこの朝が深 って初めてその目的が達せられる力において、肥粋において確定し

機るは指導者の禁止についての

指導者の艦隊起による腿民の増配っても果して指導者が骨身を信し

日報』インバール盆地の隣第四年 の貼一の影響であるビシニンプー 部隊の綺鋭は所在の職を陰極しつ 間00附近において日間問題が て、シルチャ道はビシエンプ 層かざれてでるが、十五日わが

譜に西目案 龍火宝色をかり いい温深は破神を俯 へることとに減々 | 類似によれば、セイロン層におけ の語り邀表したと聞へられる デリーからセイロン協のカンデマウントバツテンは感激ニュー ールに移った

**社名改稱並**一本社移轉廣告

實

朝鮮水産竹材株式會社大分支店大分市生石六六四朝鮮水産竹材株式會社光州支店

近い関格に改め資材、努力の貨

芸質格改訂ななす

統制を弱化すると共に、何受優額の凹指定消報地を擴大し出荷

陣容を强化

現在の京城、釜山、大町、平

販者を委嘱した

期を終開し末端配給の適正化を

を研究中である 成して企業的耐が成立する限界

> 発行所用法認は 野朋とついて れら各製法の監 石法と戦後する 異にある、こ

田

硫酸を節減

軍官民一體の平南生擴推進

の工業地標なるか否がは更も的、

また断る工場の密集化が國土計費

石政営局と企響際との繋がりが直由來、熊内の雌工廟際については

員間における緊急獲得困難な重材

運管軌道に乘る

を物質分科館において取劇め道を

生擴推進會を設立

アルミナ新製 法研究進む

**展表前演、高等法院部長及び次** 第三百(廿日)繁彩顯長、傾山 教所院教育なび 資源戦力化に成功

第1百(十九日)幣內狀況報告 新判所、後期局院投資提出以見 及不協職、關轄局民被領、關鮮 國際

**企教開具體質、酩問答申** 

佐 総両郷の代格につき側歪中であっ を 総両郷の代格につき側歪中であっ 繊維統制會

西藤

府第一會議案で三日間に言り開催 

けふ、司法官會議ひらく

区外地関係官約七十名日間、 照時

一間して工業化の條件の研究は懸 の製法研究を強細に進めると共に

法は耐次普片騒石所用法成は顕

**職合批用法への設備切替へを完善な保等十法。或は等八齢、石部、に制約されるから可及的現かに、用を軽氦に移へるべきであらう** 

な怪害汁法 咳は苦汁断 石餅、及すれば鬱酸ガスの被害が少く

してあるので、その工業化を普

電力がい。約出來ると共、ヒ既設際、折割出來上つた智重なマグを含れば聽政力スの被害が少く。 たマグネを再替極して逃に往ぐ

増産への客胆甚大

つありとすればこれは国場的印献。それ人の事情にもよることで勝一種人の新純的部面の前化を製しつ一れを採用すべきがは各工選集業績

普片法又は一部石法の皮膚的 來賦内マグネ各社は感覚ガスを了することが必要である、 たば 用法で特に出版を要するのは従

設備その他で能率を著しく増進

ネを指失することは法蔵が足り

し得るのである、このほか特に、ぬためだともいひ得べく、これ

木炭に代替品

マグネ増産へ鑛石併用

定することをも呼れてはならぬ

充分に吟味して良盛の風極を選

へば損失率を防止することも不

普介顕石併用法ならびに直

り司法行政につき次の日程で重

土百月を硫酸で原理する場合は

酸傾向を辿ってあるので 外地關係官七十名出席

に完璧を期すると共に米鉛配給の確保 ことにようて大製品の増華に軍監 選に出荷哲任制を設施する

き、近く公布質施される新原恆要 一時半から本部に研究委員會を開 協議し、また廿日午前十一時半か 綱の質施に作み質施手網その他を 朝鮮の金越マグネ工選は若汁 會朝鮮本部原價計算協 工業會以不同じ)工作、成果 成別、水田、浸田、海田、海砂 地別化型で加速、水田、浸田、海砂 地別公園 開架、(東田銀雲松内) 地子(即じ) 雅田岛、皮革、安楽 型島、強烈、場納 **総差力、容然などの言語がなど、果があるのでとのソグニンの値 直接認道に既で的関系大権宗成となりという。 音解など、果があるのでとのソグニンの値 直接認道に既で的関系大権宗成** 

と理事會を開催、十九年度事業的 性の決定、後悔の本年を解析の表定を行み、な 性間は本府郷が鴻安及び坂田企供 近く内地の竹内原館計算物質主事 職事務官を理事に選任すると共に を迎へて顾客を強化する 底させるため部督所、道、税務署、に個へる 今次頃程の意義と整言を一般に徹一の職演官を開催、機測後には質疑 稅講演會

哲例では、

京城輸議同級蔣統制制力質後接で

廿日午後一時半所民館中務当でそ

ても現地行政営局の賃行力に不安

國防心理學とは

兵の心理(四)は、防襲、宮城、文化

であって、前大阪の時アメリカ圏

天

野

び至過が評価してゐたことは富貴

規格縮減、大衆品增

產

近く出荷に責任

制

海軍工業協議會構成 「東京電話」海軍人総工等の横踏

自給肥に獎勵金

政共相を進める一方名統制部

接続いた所によっても『最初伝あ

想待してはゐなかつとこと率

で配着が二、一二の民間會員から直

防心理器の問題」る事物である。をとひ國防控制が

本年度目標百七十億貫

時臨機の展演をとる方針

生鮮魚介類の末端配給を確保

規格を三分の一の世種に整理理「原語出版」が申款別と発明するはい一、現在六十餘種に上る錯殊なる」とが、郷スフ部門とり近く生産協 帝大数授伽川昇氏その他の第の極 確立に方り、関査委員として東京 はった。 しかして右貫氏生態候制 工製質を整備統合して左の十三工 軍工部開議的は目下設立時間を活的連絡機関として近く競足する海

様は、金融の生産製造に住み製蔵 登出版の基礎をなす砂粒の総箱推 では、金融の生産製造に住み製蔵

て採徳場の間引、瀬排水、移植

並に支柱その他製塔護師のため

精質断率の設理を聞るととなった

氣を醸成しつくあったところへ十 職次選追と共に前く資産なる緊囲

一月の行政機構改革による郷工部

既に十年も前に「國防心理路」と 響いたこと、思ふが、ドイツでは る名称は、わが國民には耳新しく

は如何なる問題をその研究対象と

するか。一昨年河出路層から出版

等額、輸差特に小洋送等階事階の 軍艦局の積極的交換協力は食職、 たる道徳局の資配なる際度と現地

報道された。この國防心理威とい

る単である』と定義してある。然

らばこの國防心理風は、見無円に 暫に関係ある精神的諸現象に闘す

(ラジオ・新版等で | 国防心理場は、庭族の診断的空

も、関防はあくまでも純粋に精神

の設置は完全にその楽器を動道に

軍事心理學、戦争心理學と再ぶれ いか事物が出版されてゐる。これ

日本の國防心理域が如何なる問題

された「國防心理秘」を見ると、

てあるものは、いつれもこの中に

含なれるわけである。

大藏省顧問初會談

の終疫短期をさらに徹底せしめ軍 今迄一部具態化されてゐる全私飲 なほこの輸送計程を完強するため

領権別工築習 類別(将軍の三部力智は新設するもので た、このうち野素、皮革、炭素は品 楽會、七郎力像とすることになっ き

一箇につき一種の補助金を受付一箇、液肥、溜土園、液肥、溜土園、液肥・産土根に併め金と振向け、地肥金一根に併め金と振向け、地肥金一根に併しるという。 ることくした 十九年度の蝦薩目標を百七十億萬 肥消滅に導ら依存することとし、 を性能に境産運動を順力に展開す 度と決定、この達成には朝鮮隆留 を許さないので、際階局では自給 即ち米穀頃産初給金中壬二百九 **私鐵、計畫改編** 終夜運轉强化 一採取前積反常り一個の均産採购

すべく関連運輸を進めてある一十九年度輸送計器を一部改憲領化 「東京電話」関内産機の急速開発 ならびに軍馬資材の緊急増高に伴

・を共にしたのも石波域相より質面 を開催、費屋、結城、大野、澎海中官町に関名削新後初の顧問脅賊 の財政金牌階間限につき説明各歴 并坂および柏木の全顧問出席午餐 「東京で語」石渡崎相は十七日正 報せたのである

問からそれぞれ意見の崩壊があつ て午後三時散磨した が、輕金融、翻奏、石炭、化量

拂へば防止し得ることである。 極の使用に當つて細心の注意を 次に収集分解に借っては簡繁し に関する医験館、精道館の開開 曹、見起南、関係機関との連絡 顔ぜんとしつくある

この質問に對しては、前記の著語「に関する心理的な問題が取扱はれ

殿で、こくでは成断圏、加湿度等 船らその(1)は、航空心理の問 を採り上げてゐるかいよく分る。

なつてある。

の問頭に記された著指ジモナイト

る(IDは、防空や偏様に関する

心理風の重要性は、脳軸路域はも

配組分解に際しては電像の概念・に對してはいま一揆の注意を排 元法は製造工意で油を使用して可能ではあるまい、
た低喧響選 府並に關係的給機關と抗衡、特別的政策的關係的意義的是於上級、本學 一、昨年九、十両月の物管分科會しその成果について簡単に見れば では最後に後足以来の同館の活動 の決定に批き質質問こおける緊

めでなく学歌に負荷されたる戦工

炭工業の如き三菱塔への思切った

に は比較にならぬまどの重労働であ に ない較にならぬまどの重労働であ

おいては、一交替および三交替

移行が増配の切礼であるとさへ見

ンかし最近の響しい傾向として三

能が衝水増加の機像にあり石

一的には決定し難い問題であった

らで通跡その他の時間を加へると 地震完盛のため作戦時間が延びが

一時間が響制を採用して來心が、

と睨み合せて聊次三を容制への切

格が行ばれんとしてある

航空観方面では温暖単紫省が各

十四時間前後となるのが普通であ

新たら世施されたる軍器生産責任

一、道内交流物質については交流 ろてあらう (渡邊特派員記) 軍官民一院の資係なる態度として 制とこれが行政責任制へい聴する

も際、他の以で執るに足るとこ

能率から見れば三交替制の方が

の概念ではあいてはすでに三交替が機能を覚施した結果、機めて良好な

三交替への意向を試励してゐる

合 成 特 製 実用型 木製運搬車

制を採ってゐたとしても作績 問別などから日むを得ず二変符

従來勞務者の不足、深夜の交通

縮することが能率端上に役立つこ

とは勿論で、三池炭幡および飯塚 るから、出來るだけ作業時間を短

あるが時間下離国な油はなるべ

く頃はずに、これに代り得るも

中であると共に生化版中であるのを使ふことを考へるべきであ

劉朝世一點、その他七十四點の三月 宋辺に機械類、廿三點、殿 **展域、機械製四十一點、影響製** 多務署移動防止について各圏 丁八點。 その他七十點の貸頭に

天然條件に左右されがもであり、あるが、この大気のだけにリター説化をも思想と面現せいのわば、対と場合なはならず、これは微一郷せば必ずめる物である。 天日駅競歩による管子の地震は、は現在観光線に大坂を使用して り無火機化マグ大度機能質の工・医療を折った りすること は過ーる、しかも油に代り得るものは

同脱するとを得たが、特に地元軍一ても勿勘斯る傾向から発れること

推進層の巡話は生産均穏の一方途

じめとし境産院路の打開に直盤局 はなかった、しかし食物問題をは

としても何めて注目すべきものが

いた、質問時間に手を深めることは影化ガルシウムの含質を練費「整全頭人と通してあるが、この「質問の質を展に選定して注意深いた。 強烈にあるとは、然等が比とは態度は、人工等がは、魔を頭人と通してあるが、この 質問の質を展に選定して注意深いた。

とは絶對に許されない、鮮肉のに避けねばならず、瞳石所用法、腰的に親り出すことが急勢であ

関係官員、省員に開付け解題、量より修務者名簿を提出せしめ

全面的と廿四時間作業制への切響 はかるため各軍所工品が議場とも

(歌のみで夜ば作業しない)

及

鮮内小砂高速の心腔及び採業状況。一中榴院参議後仰付後氏官を以て待

合成

工作所

小刑高爐に有煙炭と資材配給

排と五〇%の火入れをみてあるがについては建設は既に六五%の進

▲本府交通局階記江口盛利任本府週ぞらる

【恵京宮路】生産の飛りの山頂を

重勞働能率向上

類。石炭、

操業高率工場へ優先

三交替に切

しかして唯初の狙びは特に物意の 毎月一回以上南畿、定例分科密整へ會の運営は削記四分科密が 金藤所理事を辞事とする陣容を 日報館の場合連絡イズ総助の上と ののフラあるよと の、観工会議会の選及と他力が順 を企識する連載者、映業の文様 を企識する連載者、映業の文様 を保証する連載者、映業の文様

能物質を調査、操作的協力による 質員若くは一般民間所有の交流可 可能物質は物質交流委員由を設け すじめ関係質局、耐給機関に折断 して取得に努める一方、道内交流 以上は極めて大難担な頻繁である 六、理婚姻物非常順應期間におい を収めた 工場の進出を決定したこと
、関聯工場の誘致に努め既に数 ては役職員を動員して現地が助

に皆って工変稽制と三変整制の何 倉庫を擴充計算 また炭階は従来ほとんど大部分十

して燃料到策として本年度は一

ので、これが探染率の高い工場が関端は各工場一層に指付ける 次に就設せしめる方針である の設備は探学室の高い工場から版 なほ物風味は原則として溶物式 り、粉糖成理のボツト式間易 でしい人の動われら広東路のとに口を ら王敬のとはなかつわかも知れな 出すべきでないが、我々がもつと

即十一時から京城本紀に第世一回

分据置内定 はせらば

定時株主総額を開催、猪期階及食

器形し、努力し、他後の動めで立 層でることは一回覧へがない あたら王体せしめなしなかったと 派に楽しのたら一覧哲子の将兵を と思ふ▲そこで我々はこのが答を

肺肺 中日中五 内 (150次点区) 中日中七 門 (大公開始) 月日中十二門 (大公開始) 20 科 中末間 (第十5万元) 肺炎ニカアリ 角田本泉 角田正 直 遊戲 に兒答加脇胃性慢・性急 新生

和之實谷水清監守法天安大 館本質表

本現地とおける推議<br />
が関地とおける推議<br />
対力で的消化的地一部の無限<br />
変況<br />
・プロ消化的地一部の無限<br />
変況<br />
・プロ消化的地一部の無限<br />
変況<br />
・プロ消化的<br />
・プロ消化的<br />
・プロップ<br />
・プロップ 政権の原案を作成させてある (特別の原案を作成させてある) 國家命令であって四端にせる職者 か風を明まする物格機能の適宜的の場であり、郷勢的筆上 と対する旅客等にと郷市の文値的 国家の大きないの形が出来、 東京主義の 歌東による 南東市名 ない、また一企業単位の整理政策 の救刑を目的とする社會政策では 権途の各分科會に主査一名をお 一の願かくる伦戦も信初からの完全一が國民職力職則が主として取力増一進めてある。すなはち石質問題元

(可認物便勇穩三第)

半島企業整備の前進

度九九・八%のアルミナを一〇〇

光中であったが右撃士百岩から総 感じたってアルミナ抽出を研

まで無所に心臓し來つをことは恐

所関与南間丁葉地幣の造成が断く

は大き完成されざる工築地標では

後子類の明礬を生成してアンモニーあるが、財みにいま操能が至郊散

等があり、それらが形成するこの

**西、** 彻默特殊化图

力に続いるが失して助くたい、

の重要産業である限りこれが生産 としても、その何れもが現下瞭緊

能率及び建設態成の如何は直接概

して昨年士一月、中央、地方を頭 少くない、斯る臘陽の挑除を企圖 が増産の陰路をなしてあた事例は 

する行政機構の改革が動行され観

し質問中より総務、質務、

旧触道を言聞つたのである

よ背尾新姓長を中心に競技場曲を

が型がされつくあるので、かねて

空場道及び西蘭士から特殊な

ら大同江に沿る平壌ー頭南間間の るが、しかも関係なる立地條件が

和战工就推工场、四十亿场、网

標金雕工場、物質重複層で、昭一他の財富的製造・ウナる調整は別、現地における製物が大面離でそれ、東日韓金融の各一の町・ウンて特に蔵庫下次類その一概中央において行むれてあたるめ、

ちに競尾を強げたのである と親と語言語の子の意。直 要工場、悪態場、顔出等の質注答 で下飯坂知路は昨年八月道内各国 必要性は漸く加重しつくあったの が態となべ、損害、指述すべき

即ら週知斯を商長とし半國海軍

府企遊離長、平唐遊曹局長、仁然治職長、同陸軍航空報長、本 所長、地元新聞社長らを顧問と 川逍吳城作業即長、同平與敗追

ミナ工業の國際原料への転換

関数に直域の必要なる魅力化の 中の主要で基を拾ってみても 関数に加くて大東性が関すが受ける。 のは内重要が場合がであれる。 のは内重要が場合が関するをである。 大東性が関するをでする。 大東性が関するをでする。 大東性が関するをでする。 大東性が関するを行ってみても 三菱型列 動態態態、 他 1回鎖 に加くて大東性が関する。 に一次ののは無力をは、一定を分 に、一定を分 に 一定を分 に 一定を に

店舗は疎開の方針 見適正に訳話し、また如何にして 如何とて 悪感物質を 章 のための産業合理と定動でもない

で整度を由上された関係から配的 これが接近をなけ、ころの低物団で開発を受け、ための口域の解析性の発を受け、ための口域の解析性の指摘像と

し早くも深然臓を照へるご至り、 や助して個学技術を関えれ

てあたが、交那麻痺の物種に加速

るのである。従って店舗整備の主 あり、この問題開整理を目途とす る別様はあまりかけられる質情に 始原力と設備の供出 製活用に到す

版は生産力の増配と合植均面の裏

的な自彩を多分に回顧してある。

放と整備に作っては民存体長線

神的苦痛でもある

即ち小規模なりといへども今ま

するのではない、関語局ではあくまでは無物質の州頭、食糧物産、

て企業整備に本質的な役割をな

低物質の側面的促進、貯蓄調化の

べきである

と用給業務を拘備せしめるこ

を限則とし、重要者が、

る内地の企業整備と末畑を話にす

な確保せんとするものである

・ 商して中間配給的感の砂線化を通し して物質の保含を維持する一方的 でな強力を振動し実験が深の左急

殿を設とする中小題は、柳

旋生的に成長し、暗調な資本

配給部門

中間段階の單純化れてある現状である

性する本味の但命を完全と終行せ

出するとによって耐着機能の効率 出するとによって耐着機能の効率

の場合は関係的思想などろれば女の場合は関係のないというない。

自治的整備に原案

しめると共に物質技術の駆動に対 て決勝生活の和給光足の代謝を撤

安定を確保せんとする非常質量で

より企業整備委員面を組織し省略

よって各組合では質局の指示に

めるが、影響にとつては企業の浮ー関査に基いて整備要素を作成中で

折る内外車筒のため除卵的力の

平現の影響を受けて共産性をや

分の一に過ぎ、穀棚、勢力とも決

概や伝統にある。他って

して解多ではなく、半周重量の現

給機能を整開するとによって取給 の前代と伴って概念能に陥った配 ある、経費すれば前型選択と努力 の維料を終局の組ひとするもので

和く恨れある場合のほかは生菌に関鉛の間が化と物数の間在を

で自分の物数と調便をもつて自身に超数と終うを阻用等の立場に対した。一時に超数と終行することによってで行る制師的関係的書面を組みて理解数を観さいことを提出て理解数を観さいたる。

までもない。企業整備は大東語職 四端と明朝と果敢な電話を挑脳す

に消費者の関心を集めてある記は

など手関い國家的助成を強へるこ

社との観響なる職業を保つため日

投稿山勇郎、三池思信、山田勘一▲院査

打けるのだとなり、情しみなく探

本港運協会の智長を厳務し、元句

總督府辭令(十七日附)

源したが、新發足は五月一日であ

役有馬納蘇▲取締役工場長期留

と疑慮してある。ほうた子に数へ

られて活動を渡るといふが、これで 申合せ、預算を登て入賦納しよう

氏を捕取喧与に運通省の昭可を申

8

統領形態を指來して時始続続が綴 方針に修正を加へて頂點的可成に 烈の度を加へ、これが急速は補正 てある。斯の如き質問主義の緊衝 をがけ、ないては実際配給の回得化。 選に流れ、情質的給の勝張作用を 思い切った記拾総職の履行を阻断ない、之がため重要物質に関する に質額主張をは取せるるを得なく 力容がせしめならした結果必然的な行うたとはいく、既在態者を破

職能主義へ轉換 る、町ち棚花主義的な植物で成 を真例に記録されてあるので、哲

であり、派に振荡者ととっては緒「愛えると過ぎないものであって次」へきからある。場合は漢言な安閣ではする場際、陳韓国へ一人でも多く職員派出する。 家族的勞務經濟を助成 た同時と信性が失識無常の進祭に 称さる國家的立場に立即し切力す 及ぼす経過の重大性を順適して活

局では関約主義に代るべき対策と して中小競派の生計学企業とる本 して中小競派の生計学企業とる本

一部の明朝安定を冒強に活動の適正一部の明朝安定を冒強に活動の適正 音場が困難な事情にあるので収取 を設せんとすれば生活必然物式 全部これを綜合的に垃圾みを理 くするが民儒物質の地路に高度

と同催、社長に海距中路消水光災 風脅は十五日 丸ノ内 工器保険部 社長に清水氏 西記記述式會社の第1回東立委

れが開保に個欄を來す場合は知つ の統則を受けてある現在に於て配 順を無いである、即ち深合配給所 困難性のため減合配給所は混然な いては本質的な錯雑性と技術的な への戦後戦を表究中である ることは到底困難であり、若しこ る格果となるので、综合的給所の 了配分を頭力に推進する方針で戦 店舗を郊外地へ 末端は音を通過状態に貼らしめ

都市の立て野球を対する。一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、 ると共に移り物の一部を補助する しては商品の優先配給措置を除す る方針であるが、移轉車楽者に対 ようが放して郊外地域に移動せし の如き歌歌に駆み店舗を常扱地帯 の大きな関因をなしてゐる、かく 州な信給を好け、ひいては脚誘致 結果、住宅監解師と建物的社の住 るのみならず、関節影響物面の図 に促進されてくあるが、企業許可 宇道成と相俟つて郊外分散は活地 光、監视衛田外茂美術氏教件に 他已利益金國分案、政統役村并弘

日本倉庫統制

伝え行った結果、左の階氏が強迫 江原連組織工商此ではこのまと値
立続音を開催、定数制定、役員選

ぬ、「我々の力が足らなかつたり

関目が核の見望すら、金属的攻を の飲みは、また収り戻せるのだ人

性した、なば木道殿豆式ナトン

助成せしるる登園の下に搬影王曜一ち数年來郷工業の急速な報題に ち主要都市は飛鷹的人口増加を から都市分散を機能的に低速した

> の各件を附譲するが、配営は年八 改造、進任役員に對し耐勢金額温

江原造鐵陣容決る

理な響でよ一機一殿をも割く飛場

つき補選、同安永郎七氏任期選了

内小班域の地南領防を確立する

開催、これが確保に所切の成果一月末脳保方面の連絡打合資を一月末脳保方面の連絡打合資を

過なる離立が要請されてある。而 現在最大の操築階略となってある

玉群は激がさせたもの 誰かの思いたもので

字▲ (同) 同柳腹沓 谷口翠和说本官以往 《各通》,

同玖园高一

製地に航火煉瓦の確保対策の

一大 政府経典光の保養を一手と引きられて、 一大 政府経典光の保養を一手と引きの機能 回拂込金一 三帝の一千五百萬國に境面レ第一を得るとともに資本金五百萬國を 五路回の徴収を終ったのでいよい 米倉千五百萬圓に増資 財政は二万年町銀で十九年度から るほか、全解各主要地に一般宮庭 ならびに個別が聞をそれぐ一様設 よる修存工場一十餘ケ所を傾用す する響で、一般層は一ケ所昆

世五郎と対し、祖別道師は一ケ所 同であるので、に対し、道側、相別道師は一ケ所 同であるので、 吸血補助を受けるとになってある のビーハイブ温波開資材の確保如 のは有像家をコークス化する場合 の設備も相信増強するが、これら つき中央管局と折断中であり煉炭 がはない、その場合に問題となる 際技術局外域の輸移人に使って 意識が大無関策とを半々に比率で 用せしめる方針であり、一方有一 旦下これの確保に

いた。 して、動行機を、回動を、脚箕・ して、動行機を、回動を、脚箕・ い▲をが、病後の一般が全面開場 も、無念の玉碎とり外に方法がは が百千なりですれば、間に勇敢 にして戦略に長じた皇軍路兵と職 にあった。我方の一に對して、 直接の崩機に記を控む級の概反攻 部がない~といる言葉や歌んだ人 がさせたのだ、催に申 ではなく、銃後の我々 證券



郷岡狀を星し、世界十七日)貿易浦のま

市場



府技的報本府道技師公田其次第本 事務員柳原改製綺幣官(云○ ▲本 恩梭袋爺訓導本田庫太▲(同) **冒寒任本府道技师◆(京島) 國民** 乙▲燕縣篇 爾は神自は質須清流し、自先特殊職局の展開待ちの態である、市場

奉公 

[]] 1元元明

金大型

範囲心理感と微学道域の心理感と 學 (7) 指揮統御の心理學 (8) (6) 宮原心理品と比較民族心理 関語機能の 條件に関する 心理學 及び國防門の艦制に属する心理學 西等人に関するもの) (3) 選扱 国際組織の心理風(2) 国事作業の意識が 見られて 面白い、肌ら から日郷两國の國防心理風の生格 家と
戦べて
みると、
そこに
おの
づ ト摩士が指げてゐる左記の研究到 の心理、これ等を前減のジモナイ と機関保護の問題でつば、原備者の心理 (1)0心理器(航空、通信、測距、聽 の測性と訓練の問題、七は、統率 (1)訓練及び教育の心理型(5) 石の如瓷脂問題を研究する國防 焼酒することは、敷目筒の長筒の 身につけなければならぬといふこ 態大な原質の節数となる。而して 第心理律長であつたヤー キーズ へないことはないけれども、戦争 史は治ど、微学中心の政治史でそ に、我々がこれまで替って來を極 とは最早脂酸の盆地はない、然る について正確な対域をひととほり この仕事に毎代を指する著々心識しな影があるの響がは見風形大数数 の意味において脱手史といって管 今日我々が影筆及び影筆の歴史 讀みて 「戦争史概観」を ひ方法が、

博士の音楽を引用すれば充分であ 「暗問題(ID)は、戦場にだける終してり放園もこれを認めてあるのしては厳策を勝利に超く政路等の記 そのものについての戦略酸強延い 値するのみならず、 した問題の基案 際少特だる著語が歴大においてな 店刊行になる本書に前屋大幹事屋 皇記 高級 日本井崎工物 にいここと られたとか告白せざるを得ない、 あるから、極め の方に思わずれ の方と思うすれば勝刀を撃えるせとか文化思とかいった部門の勝見 正幅且つ信

文堂で出版 などのほど明

母指動員の宣釈からみて、ヤンキ らだ』と述べてある。大田男な官 味乾燥且つ平板的なため、 淡が思る不賦明で、极管すれば無 大阪史、第五頭の日路殿事を中心大阪史、第五頭の日路殿事を中心 ◆立則自之比(日本文思報國際出 り便化文 的観察は数へられる所属る大であ 會に半島終瓘の即国に願へ、世等科護制)はこの度の現名を綴 数要性を開催する 日午後七時から府民館で注彙 の著作物を払って寄明され 務局に文庫を設置すること ◇朝鮮文人報殿曾では新事 製中のところ廿一日

五日迄和何七四塔師で明く 剂良病経神病腦 比秘便 - 7必仮 全 全 章 主幼

合株 社式 丹平商會

★知はレールの上を取るのではない。動法、例果行うの上を重るのだっとは機会報主となった。

第一日の第一員に数へられる言葉だ、レールこそは削累付と

**廿級宗務の岩が六二パーセント、卅** 

をとて大年とは10人、水白 をなどうかといへは

間の関眼が許されてあるがこれと

能がに代用食の配給をうけてある

してもあらればならないが現在は

スれだけの映画者があれば信頼 かた位語自制製のO名のうち、 のた位語自制製のO名のうち、

中、四日中間なる時も高層と

肉體 を何ひつくし、たい!

が、これもお米にして無路を割り

さではない、一回の影響時間は約

門一枚 阿六枚 阿六枚

速に常い物を願ってゐるのだ、疲

が問などによっては甘時間を突破

ることも珍しくない。こくに極

ギッ上下 鄭 (太祝)

成既馬の真は残を競捕すべき點

八時間を限度としてあるが極内の

石輪

問個阿士福

などからダイヤを肌さないたのに

聞いばる際間の孫を問うだが、最一項が共原番間美に張翔を押って取「親歩を熱処用地跡へ帰済」と聞いています。 関語 英語の孫を持つ、「親歩を熱処用地跡へ帰済」と

熱鬪の京城競馬終る

板垣軍司令官、健馬翼賛を観賞

室三階より1 時間と亘って局事級と

以上が一三パーセントとなっ

地流順の大利短短頭から続火

職る意間の巨民ではない他の駅略

れ緊國班の手では個性なし、など を見てその成力に對し皮脈を扱か 性所する、然し皆さんの中に質験 漢江河原に於て協力試験を行び同

防火物防はどうしたらよいか、

貨店で酸國の樹頭や大型無異頭の

物展を開催してある、この爆弾

熄鬼職は水月廿日午後一時から

に對する訓練が充分出來上ってを へて附かねばならぬ、大型競貨服

れば小型関星間等はわけなく疑惑

只今了吃京城府內三國百

のに對しての顕滅方法の 曜町ち二十キロ次至五〇キロのも

訓練や資材

はな物質を持んで我國と短期決職

は泥臓を展開してある、数アメ 烈を極め合目具合も前額とおい

びなし」と朝たなる決策を促した

能職争は今や被残の攻防略々一

五斗五升位の水では足らない

刀は長期間の不利を思りその順

國班に於ては貯水槽の外に見ゆ

烈だと思ったならば温々取闘精神 と戦つた非國民である、爆弾や標

無も交ってゐて錦上頭に花を添へ 三柱、その中に住牟島人類脳の思

京畿道

人だらは同れも様式になけてある印度。心が強い、丘肌だかならず緑外、人だらは同れも様式に改在してある印度。心が強い、これは組織を支援に

貯へて買くことを

大即職に割する間火型領は先づつかりした日本精神が必要である 夫して他に版の容易と聞ひ扱くし を振び起し、其隣地方法を研究工 典職の威力が終へてゐたよりも強

**升は半川雅** の危険の局 飛沫や油脂

気火などの始末をぶれぬこと、我 又空間 報整時に正所 電響

好機を狙つてある、敵の密報は

果して出來であるか、もう一度

排員の皆さんは先つ大型需要

的な気機を散行せんと歌船しそ

以本土で對する大規模目で概

八日十二にかるこの日こそ一昨年米稼がわが東京を空襲して水之日である、航後一億 更に固めよ空の護り

は新たなる独立を固め蜿蜒の防空隙を隔化すべきである。何時

の防火に就て』と聴しを鮮に放送、二千五百萬に「雌へあれば

愛國班に檄

用意はよ

•

してバケツや班用のポンプで先 も一分以内に勇敢に火品に

祭精神と頃州な訓練とを以て此の

戦略を克服せればならぬ

半島の空も決戰場に續いてゐるぞ

略式自動車緊急にて大

入宮御所に行啓

(東京な話) 屋后陛下 啓あらせられた

には十七日中前十一時 皇太子殿下 捕賀船渠に行啓

知社長の御先頭御案内にて、一

 「本語・「大・「大・「大・「大・」」という。 「大・」 「 【現實院語】 樹太子殿下には十七 火花を取らず丁場内を御怨襲あら 場は近現と輝き関係者一同も敗然 殿でも多く一日でも早くと増弱の 好、屋本子殿下の台間を仰く

て適局所の現況を領膜項の何の方。高版土の現てもる語彙を飾りた関 の進水を待つばかりになってあた

**され、ここにて加託兵の御説明に 淄出する原房機嫌疑臣が指が、増振須賀時御紹前賀昭皇に行喜遊は、決熊の冼洋に始秦の大年を得びて** 

第四、寄留地身體檢

外の場所に容留してゐる。浩が

なすのであつて台殿、瀬附、支

査受檢の手續

際あらせられた 召させられてさらに戦討断盟台を交社分割に成らせられ、御野祭を 間は元んが、それより回十一 時十五分階員摩密裡に同所御塾水

-5-

寄留地身體檢查

この符留構要機関を採出せばよ

太郎▲慶兵山田司郎(四川郡)父「母八ル▲座崔原田敦雄(同)号原(「陶淮府)兄稚に秀娟外四名▲府田吉木溝(郡魯田)父吉木敷「衆木器三郎(平墳府)父森木集吉 | 成銭[北道] ▲曾兵港住

**咸鏡北道** ▲ 曼漢作衆一

敦智線で

国部(六同部)製中村ヌイ▲陸門

(平須府) 母小林恵▲海二 習中村不安。府道 ▲ 陸兵小林知樹

陸上至元良忠(咸興府)簽女遵正伍吉田岩男(興倒邑)兄吉田仁▲

者務實航運會營運舶船

船汽海本日

製造販賣施權讓渡(時局納)

特許防火用凝塊式砂散彈的

(沙里區的) 養久山口佐子養母二 「改発力以及養養」(沙里區的)養久山口椒」 郡) 殊於殿母子養以附近

★松照思報 (計) ▲海三飛臂竹內

兄は舉兵、私は職場へ

華族の<br />
因襲抛つて<br />
起つ重順さん

老版して特別の調理をなす暗影で

者や小兒の症狀を

一等、山塚により省戦した番號一等、山塚により省戦した番號

である、緊急室と

発日平均卅食分の哨を六名が交替

が分であればある。程文部市の 選がが火的でな ければない 程私 大配函難であるが防空の施設が不 述べる容留地身際検査の手続はの心得は少しも流はない、弦で 内地と解内で本郷地の微葉區以

この順報は「見二十二日本 帯は複雑と同じであるが。同 この順報は消息部と同じ様なでは、毎日子のである。その 放送部間を寄出会にならぬ 方法で新してお勧かっては、毎日子のである。その 放送部間を寄出会にならぬ 方法で新してお勧ける ではませば (宮崎は宮) に省 様になったかどういて理由を申 である。この頃に渡して送事して入場には合えてい、その事申 、次宮田の頼査に答べ、示太い (京橋は宮2) に、西面に省 は続しく考へることはいらぬ。」、次宮田の頼査に答べ、示太い (京橋は宮2) に、西面に省 は続しく考へることはいらぬ。」、次宮田の頼在に著べ、赤太に

一般の主義はおはならな。 大学観点を持ちなから領動だらせず を獲得さればならぬ 「本が観点を持ちなから領動だらせず」を獲得さればならぬ 「能へむ」(然々必解の自然を認め解解説の職 勝がベルリン等の市民があの様な ロンドン、ドイツのハンブルグ、 りと脱獄を整へよう、彼の英國の ・ 旅院できていているがあり、一見が、手(くき)とないでは、(二川村)姉子原院子・原性ニジルは蛇のない。 岩宮心してレウか 「現を締めしてねばり頭く殿ってゐ ・遠汀湾 子次次身子 ▲原理子原治・「

に防火設備の完成に死め旺盛な防

共都市の住民は一人質局からの指

る現状に對し私共日本國民は之を 他山の石として有馬と照し酸源帝 小川・忠文(同)母小川キク▲鹽・定・母本な▲原郷神川昌陽(井呂)父秋山井欧一(同)父三ツ井・朗首▲碑兵・趙▲海・西秋山利彦(同)父秋山

班) 父神川明彦

▲壁上山东野

(群山村)父篠田勘一母オテセ▲

出興して開発な散闘を見せてあるとき、こくに位戦家といる地位か内地ではいまど女選が高々と女子班身際員に参加、及選生産部門へ

門區的廿一ノ一層面像印である ところは城大病院、その主は西大

瀬明 女服家政科を卒へ、 買なが

出來るので軽適一

一般の賄ひとは問

徳(但し一・二倍常繁分を除く)と首位以下の数字の同じ澄繁全部と別の抽籤で得た三桁の数字

三桁の数字を同じくする番号

り早出番があつよりして非大抵の

た三桁の数字と自位以下の数字を同じうする番級会部を音数と

ならいにしる、それも朝七時

今妹は順さんここで昭和十七年に

狀によって十種類以上の繁養食が 制で切盛つてゐるが、實際には症

ら死る種々の制約をかはぐり棄て、小児の係養補給に甲斐々々しく

思情北道▲原兵井上栗

質田稔(海州島) 父泗田郷太郎 🔺

夢に描く社頭對面

(大田府)要加爾初子父登▲陸伍中。 (大田府)要加爾初子父登▲陸伍加滕正嗣

↑▲曜兵小野光雄(鳥黎院号)、父谷川曜太郎(周)父谷川禰市母ア

谷豊穣(青松郎) 兄假谷幸三回

▲壁大尉北村殿

慶尚北道 ▲海田県川殿

倒れて後止まぬ、海軍魂、

譽れの遺族ら決る

海軍志願者第二期訓練所入所式

標単重人となる鳥の訓練生とな

させてはならないと意味を想向で

夏三名、<u>南</u>夏三名、食椒增重協力

以陰原及曾昌三名を実彰、時間と

が引受けることになった。取扱さ 出、生活の一切食材を膨まるん 金融村に消すとともに包括も個く

忠誠会、権が、が十八日から京城忠和の後間と出る、この権がよう

創題して島圏臣民としての螺成路

堂で本年度総督を開催、優良福楽の八日午前九時から山口市第一公會

下 网 配 的 加 和 如 口 又 面 以 十

協和會支會總會

治療さんとしての修錬を積んで

めたが、昨年の「政徒が日曜に国

所引取券証本日

祭養も満點

戰食雜炊登場

子さん(この手助けをする)傍ら

第場市阪大

等の同じ番野全部 と一切の数字と十位以下の数 等を一切の数字と十位以下の数

京城府中區太平通二丁自二〇

京縣行墨本地二自101番的南大山縣內別

弧所

番號と十位以下一句の数字を同級分を除く) 今三時、一等道級

取身化教する 母脳

Q.

2 韓國伊公一等、地数により 意識した新家の二等、一等温度 新歌と千位以下四初の数字を同 じっする新安全部(但し一等温

血液型判定

優毒血液檢查、寄生虫檢查、喀痰檢查

でいる語さん

は給食を変施し製板の数職員とも 十八日から感覚型と治症されるこ

の訓練は全く生やさしてものである、中島も今こそ粒

日本人としての基礎を完成して

たほ先年も見望と同様一食土鱧(公を繋づたのも市内鉄山岬鉱筑内)とになった

指導下の城大病院就養婦に駆める んは働き目壁のある仕事をと探し

規格に退合米に、大根、小等、脚環体に退合米に、大根、小等、関連係などを混ぜ合せ、憩す、機種の動も物質は四百九十分。 ではをつけ一人前百匁が出、際で味をつけ一人前百匁が出、原格に過合米に、大根、小等、脚

學徒を全部荒鷲に

一等四数例近金数

開家としたもの。、銀行員番を

國防航空團、活潑な運動を展開

いまぞ生る强い貯蓄心 6 午後一屋から訓練所練品はで殴 温度、関ルを持ちのから

さな確をかをはらに置いて、附 領かつたりする街の銀行家であ 近の住民遊に小金を貸したり、 な此跡を持ち出し金融に代る小 命でるの館間に感激も一人深く決 翌 頭訓練生に時の / 訓練生徒を 際生の後を織名牛品の妖器を向ふ 殿の館標が行はれた、第一項部

と関照な初期示を行び午後 歴生

人態の川陽に加へて半度が固める一

土澤成盟智智、十月から十一月月間各道道位の職智智パ、九の月間各道道位の職智智パ、九の

幾成階層質を行ひ、飛行、整個

と新像が出来る、食配物人や質出

六〇六號と

しある。また半島側勢紛沓用の練

としてこれまた。ジロンタン雑

であた六十九町で、1日約一両人 取扱店は目慣店ら従来都司を扱つ

の間は成北背州で斜回沿岸の野

が別が、 質が別ではない。 を記げいませに支ががでれるを がけ、 道が別に接換が行る物を には、 道が別に接換が行る物を には、 道が別に接換が行る物を には、 道が別に接換が行る物を がする。

数が多くられてある

烈な決喩段階と前側し

はせてある 影かつて宮崎所長の前に思明な 大つた、かくて各分際ごとに代 の誤解生の一貫となつたのだ。こ 厳を上げ、がに初めて名祭あ

神く刻んだ

別語器設式があり、次いで吉岡所

管は今日から景然名誉のる符號・な数職に帯はる先生にも不自由を

好成績を収めてゐるが、原榜給食の核給食は失る一日がと解析され はめくまで<br />
展置本位で<br />
政権員は<br />
目 から来を投巻してゐたが、神態 在表一日から 明治され

一路に給食 航空唯一朝鮮國防航空間の十九年

手始のと、歴生飛行加減・整備は強 度事評法、荒職成の一時と

◆飛行部一数でと陳智殿十五後を 行訓練を、九月から山上藤僧員・地間三月中旬から大酒の恵生祭

甘山から五月五日まで國際五百八

十風風、腹陽風然見九十二萬五千 出た銃後の弾丸

密南を開催、六月中旬から一ケーるが、今期の分から依然の遂行係、原防沙案間で一般消空士養成勘。 ドリミ素 グラックの 原力 ではしてん 貯債、報債廿日賣出し 門上部以希別沿足方法が一 観察が非常と高くなつと、整路は

定ってゐるためなでを問ばず誰行 てある。那人しい別里が問題なく一節後の一般伝統使して極道現象自

ゆすことに工夫しょうではない が要求する最近の必需品を整へて 職務必需物品 決定方法 不の関が三本と 七日終った れて京城春観官は州年通り去る たが、特に半島では内て今春から一時中止し 地に比して遜色を見せ

なって以来撤回線を作ったまって以来撤回線を作った 展別は国祖共に一人一枚知りることを民事がでは国祖共に一人一枚知りる に、競局場を根拠として後を絶 る既然抱合せの間化も必要だが 一百から問題、日間と思う十 たの「台目の一掃を住じの決 それにしてもこの総数上金が \*\*\*

● 東京 八〇五二世

原得動物工術你式會

**票真珠粉末**湿紫檀

84 8

木とに結合されてはじめてレールの役目が果せるやうに、 測解の各環場成士の運然一版化によってはじめて思ひ切り決能 記憶は窓科の珠かん及気と表現土、車流、高流、東車、極端、

開がが公園的近下を招いてある

かというと決して投資されて

【阿権手】関係活の関係、領域、

てある

国をも関係があるがある。 とは否み難いのである。しかし

> かうした線の下の力特としてある されてあるから判別出來るわけだ

横内、能量ほどん社事を

の天熟練と施設、意材の不能不

教情をもって報り切り、決

内主任、極内助役の下に次の如く 「車號掛」一般特に貨物の内容をよ

してあるのであらうか、臓師は概

「到荷手」赤絲の手がを振つて甲 手用制動物、各層氣管の取扱い に從ふのである

列車の股級解機を招くので

分れてある

あらうか、油しい大阪学のために依然治療な人意の多くが取得 たい、前線に出頭した保護が野気のからを取ってたとへ技術は を描る構内規場の人的記憶は一般どんな具合になってあるので に征ってあるのはどこの世界でも同じてあることは言ふまでも

部形であらろとも、現象に残り用しばし間かられた知識を思想決してやるだらが聞いてあるのが展出のでは国際に何早後の後述があるのははあまである

熱で送る岩き闘志

別山圏と水色部の路車競響車輛板 収録法の傾向道成に成身の時をふ

年末満が一〇パーセントである 10パーセント、十年以上卅五

たべ一途、願ふは、正常運轉、

すれば十八年には二二五となり

なし動類別類は内容を影開権認定と、別類の組成を構み、配縁的を

際が出來なかったら直ちに像差職 りが一条製孔ず容器して作業の運 いれらの第一級挺身が退掉なる針

において敗れ、成力地限に大いな

く知って追募を指導し行先

(表現の取扱に必用する。地でリートの対象を表現の取扱に対する。地でリートの対象を表現である。

歌と歌踊の恋を揺げようくます

のだ、神波現象位置対にもつと滅 ふも検送のこれら隣の様士の世間

を聞し物源の不足を誤り越えてあ

キロシを打廻るる。地下 里が一品でる、戦れた地

で近らっといる朝鮮機道の機関車

が無何接である、現火が扱いこと

開発が敗の他の一つであることを あるのである、<br />
縁起の成否が<br />
脱力 質、給別は機内從斯坦と同様で、

思い語とている。後途の形成と

工場へ関し自分の 場がいれてある。石炭は里路生配 会国版を扱ってゐるのが祝聞區現

配い個内の 屋外動物者は 毎日廿

2000000字階が加給されてある 程度に続い一日線空西

ならない、さうした故障のある時

問具合が終くも出動したいれば

成内征事員の好きにも乗り場の如

はならぬ、機関電影が以の 発展が急騰してあることを知られ

原事、 炭炎手などの 政務と努

とねつに

る。、危険は不注意からしている 労働者として 一日〇合の特配を受 質でふかりでいるのだ。お米は近

る、月に一足でもは言般ってしま

抜をつくるが練ってはてあ

り、始既の貼からでして

水白のは十五年を一〇〇と

気間に機能せしむることが形態でした、線底閣下よりも各方面に見つ る意公恵自らが熾烈なる度任機念」であるが、何れも決戦下髪が非である。これには第一級の部隊長た」て極めて詳細な御嗣示があったの と関係は同時の場合でも一般 さんに乗ったらむの人を含れたというだ。 かっぱん る楽田でパッタリ陽子 お母さ家の仰荷なやうに埋縮 つて職へる楽田でパッタリ陽子 にゅうぶってきょうだってきょうだってきょう ばかりなるが、速急電下一般医衆 機督階下の平素組强調になってゐ に透徹せしめて質細の根據を誤っ 進すべきである。と観示しになっ て期せねばならぬと思ってある。 も具現酸底を期せねばならぬ事項 ふんだらう

一となる上げはを望する露だ、あたし一人が、いくえ場でな人達がいくら 選載だとか絵の類だとがいったって、それがとうなるとい っても、さて現在をどうするしないのは本當だ、理解に通

鍾路管內は一元整備 新陣容 り第一分卿長に石川路遇、岡副子に帰防傷部長玉山友彦氏が坐 長寶職を十五日午後七時から京 それくいりない話があって香 **夏、黑木區長、夏山脈防雪長が** 國旗掲揚法を指導 動物を長雪青年前では延身隊

を確めて後五時就額した

培ふ科學心

特別参観日子供のため

欧色の影響を繋するため火の出る

をの**断員の配き、命令方法などと** 警長職業のもとと変数を受けたと

國民學校と連絡をとり四月から十

月まで毎月四回『特別参郷日』を

子前十一時後公同双編第三者問左 際門屋校に贈ることとです

韓朝五時半を期して艦蹶起國天動 常面を開き、錬成に情緒に追悼 每日曉天常會 楼上町青挺隊 冒名の任命式は廿 七日から一週間毎朝六時から一時 青年運動環境について職績なき时 **中四日から一週間毎晩七時から** なほ一隊で隊長ほか一名を選び十 加松場方法を指導するとともに國 脱資車の、一般を一段と目揚する、 日に派員は自分の町内を廻り國 過ぐる「日足の規正を行つて艦車」 との練り換案続を切り離された后 樂客は二割車輛五割減 京城が後数の下に村内各 手供の科学のを表ふこと

するとを中合せて同十時散曾レた 時間づつ勝省雷を催し心身を練聞 兵棋演習東大門響では傷 内のパスから巻ふこれは村民の足 

ら京監轄では京城より天安間、京します、手場前に由地トランク国

門 下宿人にも石鹸、タオル

家庭問答公

また一度もないたこがありませ 其の他一般の耐給がありますが

やう原理してある

(温 生)

程定列望に自己の

0000

配體明

の脳御膨胀下さい、次に

なかく行機らないのです(翻画

何人を含めて配給致してをひます

何しる品物の敷が少いので、

**突舞為中罗** 

りましたが、大東距離事が物後す一ので地ならしも脏大抵では込りま の皮質部の許可を得まして、早もかつとしてをる。とが出来すこ せんでした、男子よりむしろ婦人 しました、何にしても荒地でした を去世界し作ど強致 速帯地ならしで開始し、整國班」くなってシャベルを握り、鍬を持 ち大地を踏みしめるのであります のかと思ふとおうとしてをられた る収穫も不可能であるかと思ばれ 英機関の概ともなることができる く、私籍の作つた意味がやがて米 トウョウるホシサカエ▲ア新抽ー
古ーヒデミヤー分五七秒四2ダイ ンハッコウー会当 フルイラニテン

用利の地閑空

範模の践實

酸場となってゐ宗して、誰も土地で永年の聲音場、大人、子供の遊

利用を導へる者がありませんでし

ると同じこその希望が順回により 役当一指したとのでで た、私は日夜何らかして部落民に

列車で通勤芸をは連島するわれわ 然をる瞬場を沸らしめ認進軍し決め、鬼音米英寒らてし止まぬの烈 ればわれくの手で自治に姿め、 を安んじ蒸りたいと思ってある 職の本年を絶勤的に勝ら扱き県国 だって 統制ある派車を行び派車時の退離 重要加策を道民に限なく恣機もし し、御訓示の御書言をび決覧下の 「あなた、会だ顔だとか開だ」 やうな鍵をしてゐた、そして ておくけど、あたしひぼしばておくけど、あたしひぼしば 交通自治會を設立 殿は深に説述する能力を有する | 闘すでに膏肓に入る 星子さんのとんだ日記帳…… 用について京純道では遠内各公私
文中系典をの非常始直を資施し
アンゴラ男等の非常始直を資施し
アンゴラ男等の非常始直を資施し くて何の己れが道殿かなしだわ 馬鹿にしてるわ、だつて喉へな といってやったらいの人目を図 ける生産成力の制制的類型を担す れら約三百名が集合、京城地方颇一を織成、實行に乗り出した 日午前で時から楊州國民原校にこ 日午前工時から楊州國民監督にと
女子迎、満屋生、男子迎、女子迎、中に於ても道鑑を生かすべくナハ、種打合せ六百名を通勤者、男子迎、中に於ても道鑑を生かすべくナハ、種打合せ六百名を通勤者、男子迎、 決戦非常措置要綱に述く定開地利 **弊を消**負ってるのね。 學園の空地活用 あなたは家だ自由主義の風 蓖麻・棉花・アンゴラ兎を増産

たわ、お隣りの小母でまは間の けかお隣りへ腕を五つ持つてい 名人だから何時も終らしいもの ってあげたらハムをぶし下すつ を深山番へてゐらつしゃる、あ たしももつと

居力を

掛けな

言や を實行する一、學校周端の空地 ※國亞蘇の栽培を一層明化ごる いては道慶會の指定した貿易なほぼが開発を

お回うの要子さんと〇〇デバー トの裏が成へ行ったら足器と靴 一 の方へ廻って來なくなるわーだって、失職しちゃなわ 数目々々、あんをのやうな観と がして異れないーといったら、 がして異れないーといったら、 一枚録つたから上げませうこい楽和な老様士がニコくして ん00ではなかくいく解らした。英子さ 間の先生で紹介したら、

今月は卅日と開催。 原列品の時 つた山田新一連伯野・年間、美田 半島學兵出陣 家の特別製語などがある。 第四般期で料理映画の上世、第四 延暮に寄贈山田嵩伯が 地でのは昨年三月頃から十一月 **監を仕入れ、三年順除の利益** までに関係で織物三萬二千八日 間男徵役二年 織物問屋

★に関いて選行して公の急継を行いた。 素材とより風長をはぐくわら配摘りの一覧は今回作者より回獲の 今これは府の最北部から府内へ出 途を辿ってある 途を辿ってある 京城地方法院で概念 | 写を宗刑さ 献金 十七日東大門獨心上七

つて苦とせぬ最近の勞紛者の生二十歳、月六國の樂車資を文拂 て形内のパスは梁車人員二割減 く(僅か願泉、磯雄県間一つ峠 同▲11國十六鎮-1萬七町二八、 

なその仏版性

日以後に見るバスの自動

中であるが、第三会、開始計、使中時計、財布等被害者の届出が ないため取酬上不便を除じてる 被害者居出よ西内害 では、その後の指揮として の数果を廿五日頃 の数果を廿五日頃 の数果を廿五日頃 移動演劇隊を强化

スカツキョダイイチ▲呼解ーコウルナー分五七秒ミカンコウョミツ 京城競馬(最終日) パサー分四秒~テル 色を士二世紀に、四日出動する 六名)を五塚と増磨し、一道に年 演を現化し、移動演劇隊(一隊十は週格者を選づて商業酸土顧問巡 一回の強定で影響する、なほ像地 1 個主の基準と減ってきなが、 ・ 個主の基準と減ってきなが、 ・ ののには、 ・ のののには、 ・ ののには、 ・ ののには、 ・ ののには、 ・ ののには、 ・ ののには、 ・ ののには、 ・ 東風の野や命しやよくと婚の思 は必然とのも 唯一人泣きつ人変を重める子よ

却 斑

連翹の終れる聖を光の層り 後端 **井戸答をして
なる
井戸に
倚り
覗く** 

介· 南部 「高協」では衆米成作 四十日間。京 東林鑛業性之會社

給仕採用

洪震求医院 洪震求医院 (光)494

古本意

電電 五

松下電器產業 

日防ワン公の 本二素の

の葡萄作りを

西

五人型 四、入郷

本ニュー

道

分雪豆 前田新春 部南大河南山第一分曾

◇献納棉花の栽培・棉花は専用被に買取らず 一覧で実をつけ

村上松次郎(繪)

海野十三(作)

糸統的な組織と重要施策を理解し 山田和歌記運動指進隊本部を設け

治療を設け、現り降りは勿識列車|慰主事等が臨席、懸盦を開いて積 選挙する約六百名が終起し交通自一道局から古城縣送課長、際好京保

食風作物の開整を浸慮し適宜増に協議すること(1)都市では

であるよいのは、 特別大番したけれ はならはいのは、 特別なる空中分 原を多げた宇宙観光 1 自由総と通 は、その後に超った『棚子』にからまる事件を、出來るだけ間壁に述べようと思な。 ならば、機関の設する管理によっ

が、あれから一ケ月ばかり經って れたよい耳の持士であり、普の分 れたよい耳の持士であり、普の分 子の思いことに類がついたのであ 始めると間もなく、喧影機闘の闘

機能滑油の原料として網製不可

で受ける三、生産した健康は飛 本電り不均一合程を標準

題力系統をもつて府(京城) ストラスのこと」、接種用種子は國際

(2) 郡では一般空地の外特に 面の方途を聞じ特に郊外等に空

眈の資源で左の要領で増産供出

類異は、重服、飛行服、防寒外、数更、紫癜病、阻腸質酶)3/増産

布を受ける四、生産棉花の

ちゃんと生きてある帆村北鳴だっ だが肥村は断撃ではなかった。 と決めてあた。尤も存在その期に もし見つかれば、そのときを最期 最初の著へでは、この宇宙

では、帆村はいかとして活の目

はいること が出来たので あらうか。 終となってい 

版内を自由に少さ動ることに成功した。そのは予事職は様に選ぶを した。そのは予事職は様に選ぶを 強揮してあて、関くべき整備なも で証内の機構や設備は、アメリ彼は巧みに駆内を配象して歩い しかし宇宙艦の関射機関が近く

本町五丁目した

瀬・地ブニー組

私の治療薬を教へばい毒で困る人へ

**野和大流門 日** 

成興職業紹介所

では、 のでは、 のでは、

昭和拾九年四月脸五日

· 三 友 號 業 有 限 會 京原於鹽鹽里丁自宣語

つあった。それは鹿財機関の宣がだが彼の気に入らないものが一 いてみれば、この上来く能力に見る 左配へ公園館(重頻脚)

きずいら、自己を対していた。 のであまりも、生な気味をしている、加熱な地では、よく利力の一命を なったりも、生な気味をしている、加熱な地では、よく利力の一命を るっけも、自己を教のするにた人一 ヴァネのであった。 一日目であつた。常時高度は二

> 医学博士 安田書 京城間二(三望無附上) 電話 編 ② 四大五日 安田實

起すにちがなれら ころの唯計機関は、きつと故障を

別出で廿一日とり五日間四月公流 

東京東京 京城駅裏中林町六 本柳 宗 事。

荷造の大安全の大学を表現である。 **別指示に依り**弊社儀
解自動車交通事業整備方針に基く 

東原

古

照等 藤田 光 三郎 瑞山超生记必續品、資政業組合

理量金村東珍

歓呼の日まで 一億

成南旅客自動車株式會社 元語 成南旅客目動車 監 祉 名北鮮交通株式會社 威夷府陷和时一丁自七三番地

記

新山金融等 管 原

俊

夫

德 水

豐

國

川震慢

櫚

渡



春三苗郎

少大

キビル 第一生命南大門文部 第一生命南大門文部 京日家内、科金(前金) 爾 別 一件二回 悉之 爾 別 一件二回 悉之 電話光 **荷造運搬**其他 春鐵道本 地方特 间 於編 的一根次將 上







一、提出書類

一、就案内容格

日本窒素本宮工場

、求人者。 成南與南邑 東大 特技能 規見 智工募集

















































































私護野九八荒、藤山水響 香風書院